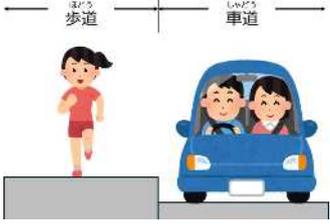
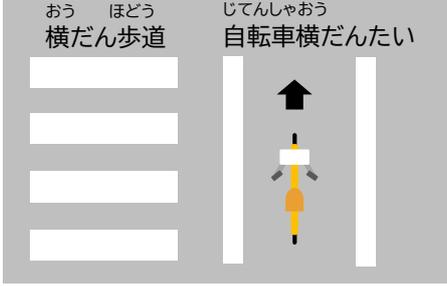


# 自転車のルールテスト(小学生) (かいせつ)

ただ正しいものに○、まちがっているものに×をつけましょう。

|    | もん だい<br>問 題  | こた<br>答え |
|----|---|----------|
| 1. | <p>ず 図のように人が歩くところを「歩道」という。</p> <p>(かいせつ)問題文のとおりです。道を歩くとき、歩道があればかならず歩道を通りましょう。</p>   | ○        |
| 2. | <p>小学生は自転車で歩道を走ってもよい。</p> <p>(かいせつ)自転車は車道を走るのがきまりですが、13才になるまでと70才になってからは歩道を走ることができます。小学生であるみなさんはまだ13才になっていないので、自転車で歩道を走ることができます。</p>  | ○        |
| 3. | <p>横だん歩道に歩いている人がいるときは、自転車からおりて、おしながらわたる。</p> <p>(かいせつ)横だん歩道は歩いている人のためにあります。歩いている人がいるときは自転車からおりておしてわたりましょう。また、横だん歩道のちかくに「自転車横だんたい」があるときはそこを通らなければなりません。</p>  | ○        |
| 4. | <p>青信ごうではまわりを見ずに、すぐにわたってもよい。</p> <p>(かいせつ)青信ごうでも、前と後ろから車が曲がってきます。右左だけでなく、前と後ろも見てからわたりましょう。</p>  | ×        |
| 5. | <p>歩道がないところでは、自転車は車道(車が走るところ)の左はしを走る。</p> <p>(かいせつ)問題のとおりです。自転車は車道の左はしを走りましょう。歩いているときは車道の右はしを歩きます。</p>    | ○        |

ただ  
正しいものに○、まちがっているものに×をつけましょう。

|     | もん<br>問 だい<br>題   | こた<br>答え |
|-----|---|----------|
| 6.  | <p>このしるし(ひょうしき)があるところは、<sup>じてんしゃ と</sup>自転車も止まる。</p>  <p>(かいせつ)このしるし(ひょうしき)は事この<sup>おほ</sup>多いところにあります。<sup>じてんしゃ の</sup>自転車に乗っているときはもちろん、<sup>ある</sup>歩いているときも、このしるしがあればかならず<sup>と</sup>止まって<sup>あんぜん</sup>安全をかくにんしてから<sup>すす</sup>進みましょう。</p>   | ○        |
| 7.  | <p><sup>じてんしゃ の</sup>自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶるようにしなければならない。</p> <p>(かいせつ)ヘルメットは<sup>あたま まも だいじ</sup>頭を守る大事なものです。<sup>じてんしゃ の</sup>自転車に乗るときにはヘルメットをかぶるようにしましょう。</p>  | ○        |
| 8.  | <p><sup>ひだり</sup>左のブレーキがきかなくても、<sup>みぎ</sup>右のブレーキはよくきくのであれば<sup>じてんしゃ の</sup>自転車に乗ってもよい。</p> <p>(かいせつ)<sup>りょうほう</sup>両方のブレーキがきかない<sup>じてんしゃ の</sup>自転車に乗ってはいけません。</p>   | ×        |
| 9.  | <p><sup>じてんしゃ の まえ</sup>自転車に乗る前には、<sup>くうき はい</sup>タイヤに空気が入っているかだけをたしかめればよい。</p> <p>(かいせつ)<sup>じてんしゃ の</sup>自転車に乗るときは「ぶたはしゃべる(ブレーキはきくか、<sup>くうき</sup>タイヤに空気が入っているか、<sup>はん</sup>反しゃざいはついているか、<sup>しやたい</sup>車体がこわれていないか、ベルは<sup>な</sup>鳴るか)」をたしかめましょう。</p>  | ×        |
| 10. | <p><sup>ほどう ある ひと</sup>歩道に歩いてる人がいて<sup>じてんしゃ とお</sup>自転車で通れないときは、よけてもらうためにベルを<sup>な</sup>鳴らしてもよい。</p> <p>(かいせつ)<sup>じてんしゃ の</sup>自転車のベルはあぶないときにだけ<sup>ある ひと</sup>鳴らすもので、歩いてる人によけてもらうために<sup>な</sup>鳴らしてはいけません。また、<sup>ほどう ある ひと</sup>歩道は歩いてる人のための道です。<sup>じてんしゃ</sup>自転車で<sup>ほどう はし</sup>歩道を走るときは、<sup>ある ひと</sup>歩いてるひとが安全に<sup>とお</sup>通れるように<sup>お</sup>スピードを落としましょう。</p> | ×        |
| 11. | <p><sup>じてんしゃ はし だ</sup>自転車で走り出すときは、<sup>みぎ ひだり</sup>右・左だけでなく<sup>みぎ うし</sup>右の後ろもかくにんする。</p> <p>(かいせつ)<sup>みぎ うし</sup>右の後ろから<sup>くるま</sup>車が来るかもしれません。<sup>みぎ ひだり</sup>右・左だけでなくかならず<sup>みぎ うし</sup>右の後ろもかくにんしてから<sup>はし</sup>走りましょう。</p>   | ○        |
| 12. | <p><sup>て</sup>かた手であればハンドルから<sup>て</sup>手をはなして<sup>じてんしゃ の</sup>自転車に乗ってもよい。</p> <p>(かいせつ)<sup>て</sup>手ばなし<sup>うんてん</sup>運転はととても<sup>きけん</sup>危険です。かならず<sup>りょうて</sup>両手でハンドルをにぎりましょう</p>  | ×        |

ただ  
正しいものに○、まちがっているものに×をつけましょう。

|     | もん<br>問      だい<br>題  | こた<br>答え |
|-----|---|----------|
| 13. | <p>よる じてんしゃ の 道路がよく見えていればライトをつけなくてもよい。</p> <p>(かいせつ) 自転車のライトは自分が見やすくなるだけでなく、車の運転手やまわりの人に気づいてもらうためにつけます。ライトは暗くなる前につけましょう。</p>  | ×        |
| 14. | <p>じてんしゃ の 自転車に乗っているときに人とぶつかっても、けががなければおうちの人やけいさつに言わなくてよい。</p> <p>(かいせつ) 事ここにあったときはけががなくても、おうちの人や先生、けいさつなど大人にかならず知らせましょう。</p> | ×        |
| 15. | <p>ふみきりをわたるときは、いったん止まって電車がきていないかをかくにんし、自転車からおりておしながらわたる。</p> <p>(かいせつ) 問題のとおりです。ふみきりがカンカン鳴りはじめたら電車が来る合図なので、わたるのをやめましょう。</p>   | ○        |